

阪神北地区ニュース

創刊号

発行：阪神北地区 総務委員会

● 阪神北地区誕生！

2010年4月24日(土曜日)いたみホールで阪神北地区の設立総会が行われました。阪神北地区は、旧伊丹地区、旧川西地区、旧宝塚地区の合併により誕生したもので、4月現在で21個団が、その構成員となっています。

総会では、県連役員より地区の活性化をするため、地区再編の構想にのっとり、阪神北地区が誕生した経緯を説明され、地区規約の承認と新地区役員の承認が満場一致で採択されました。その後、新役員のもと今年度の地区の活動計画や予算が承認されました。

4月29日に行われた、県連盟60周年記念振興大会では、同時期に誕生した阪神さくら地区と共に、県の仲間たちに披露されました。当日参加のスカウトたちの大きなエールが神戸の港に響きました。

● 阪神北地区ってどんなもの？

阪神北地区は、篠山市、三田市、猪名川町、宝塚市、川西市、伊丹市の5市1町がその区域となっており、それぞれに特徴ある活動を続けてきた21個団で構成されています。

地区名が変わってもそれぞれの団名はこれまでどおり変わりません。地区の仲間が増えて、これからはもっと楽しい行事が増えるのです。主な予定行事はビーバー祭り、カブラリー、六甲登山、ベンチャーフォーラム、地区振興大会などです。リーダーの連携もラウンドテーブルを通じて充実されます。

また、旧宝塚地区キャンプ場、旧川西地区槻並キャンプ場が地区キャンプ場として開放されました。

<構成団> (50音順)

伊丹第1団、伊丹第2団、伊丹第3団、伊丹第5団、伊丹第10団、伊丹第11団、伊丹第12団、猪名川第1団、川西第1団、川西第3団、川西第4団、川西第5団、川西第6団、川西第7団、篠山第1団、三田第1団、宝塚第1団、宝塚第2団、宝塚第5団、宝塚第6団、宝塚第8団



編集者の目から見た各市町紹介（北部から）

篠山市：篠山城を中心にした城下町や、立杭焼きの窯元などがあり、多紀アルプスの山々に囲まれた自然豊かなふるさとのまち。栗・山芋・枝豆・いのししなどおいしいものがいっぱいあります。

三田市：市の花はさつき。ニュータウンの開発で日本で一番人口増加率が高い時期がありました。まだまだ自然がたくさん残っていて、有馬富士公園や野外活動センターがあります。

猪名川町：町の花はつつじで、南部は日生ニュータウンなどの住宅地が広がり北部には奥猪名の清流がながれ虫も見られる。多田銀山の跡地もあり、大野高原には猪名川天文台があります。

川西市：市の花はリンドウ。源氏発祥の地と言われ春の源氏祭りには、武者や姫様の懐古行列が行われる。市のマスコットにきんたくんを採用している。市の北部に一庫ダムがあり四季折々の風景を見せる。

宝塚市：市の花はすみれ。宝塚歌劇と温泉の街。近年は手塚治虫が子供時代に暮らしたことで、記念館を建てるなど、アトムのみんぱのイメージを作っている。また阪神競馬場があり、G1レースが行われている。

伊丹市：市の花はつつじ。酒造りが盛んであった。大阪国際空港があり、飛行機から眺める昆陽池には日本列島が浮かんでいる。“なぎなた”の日本連盟本部があり、なぎなたの中心地という意外な面もある。

地区シンボルマーク募集：新しい地区のシンボルマークを君の手で作ろう！詳しくは募集要項見てね！